

# 国際シンポジウム

## 食・農・暮らしと生物多様性

時期：2010年1月29日（金）13:30～17:00（受付：13:10～13:30）

場所：（独）国際協力機構 東京国際センター 講堂

主催：（社）国際農林業協働協会（JAICAF）

後援（申請中）：農林水産省、FAO 日本事務所、JICA

協力：東京学芸大学環境教育実践施設

これまで、農業生産の現場では、高い生産性と経済効果が期待できるモノカルチャーが推し進められてきました。生産性の向上は常に重要な課題であるものの、世界の農村では、多種多様な自然資源から日々の糧を得ており、そうした多様な農村の暮らしが生物多様性を保全しているといえます。生活の多様性と生物多様性は表裏一体であり、開発途上国における農村開発の現場では、このような“多様性”への認識が必要なのではないでしょうか。

本シンポジウムでは、生物多様性と両立する食・農・暮らしという視点から、農業・農村開発の在り方を考えます。

### プログラム <日英同時通訳>

- 13:30 開会
- 13:40～14:30 第一部 基調講演  
「生物多様性－食料安全保障の要」  
**(Biodiversity: An Essential Base for Food and Nutrition Security)**  
**Dr. Akwesi Ntiamoah Atta-Krah**  
国際生物多様性センター次長
- 14:30～14:50 休憩
- 14:50～16:50 第二部 パネルディスカッション「生物多様性保全と農村開発の両立」  
ファシリテーター：草野孝久 氏  
JICA 東京国際センター所長／女子栄養大学研究所客員教授  
パネリスト：  
**Dr. Akwesi Ntiamoah Atta-Krah**  
木俣美樹男 氏（東京学芸大学教授・環境教育実践施設長  
（財）森とむらの会／植物と人々の博物館イニシアティブ）  
西川芳昭 氏（名古屋大学大学院国際開発研究科教授）  
壽賀一仁 氏（いりあい・よりあい・まなびあいネットワーク 理事  
（特活）日本国際ボランティアセンター事務局次長）
- 16:50～17:00 閉会

申込 下記ホームページ、電子メール宛あるいは FAX でお申し込み下さい。

参加費：無料

申込先：JAICAF 業務第二部 西山／大谷

TEL：03-5772-7880／FAX：03-5772-7680／E-mail：deske@jaicaf.or.jp

http://www.jaicaf.or.jp

< FAX 用申込書裏面 >

## 参加申込書

# 食・農・暮らしと生物多様性

宛先：(社) 国際農林業協働協会 (担当：西山・大谷)

FAX：03-5772-7680

\*定員に達した場合、お断りすることがあります。(定員約150名)

\*お申し込み受付の場合は、特にご連絡いたしません。お断りする場合のみご連絡いたします。

ご所属	
(ふりがな) お名前	
(複数名の記入可)	
電話番号	
FAX 番号*	
電子メールアドレス*	

\* 次回からのセミナー情報を電子メール/FAXにてご案内することがあります。

## 国際シンポジウム「食・農・暮らしと生物多様性」

日時：2010年1月29日(金) 13:30~17:00

場所：JICA 東京国際センター 講堂



### 会場案内

JICA 東京センター  
東京都渋谷区西原 2-49-5

\*京王新線 幡ヶ谷駅下車  
(南口出口) 徒歩 8分

\*地下鉄千代田線  
代々木上原駅下車  
(北口出口) 徒歩 12分